

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年12月6日(2012.12.6)

【公開番号】特開2012-6969(P2012-6969A)

【公開日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-002

【出願番号】特願2011-198277(P2011-198277)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/09

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 31/04

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月10日(2012.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つのストレプトコッカス・ニューモニエ多糖体抗原と、P h t A、P h t D、P h t B、P h t E、S p s A、L y t B、L y t C、L y t A、S p 1 2 5、S p 1 0 1、S p 1 2 8、S p 1 3 0 および S p 1 3 3 から成る群から選択される少なくとも 1 つのストレプトコッカス・ニューモニエ蛋白抗原またはその免疫学的機能等価物とを含んで成る免疫原性組成物。

【請求項 2】

多糖体抗原が多糖体蛋白担体接合物の形態で提供される請求項 1 記載の免疫原性組成物。

【請求項 3】

担体蛋白がジフテリアトキソイド、破傷風トキソイド、C R M 1 9 7、キーホール・リンベットヘモシアニン(K L H)、ツベルクリンの蛋白誘導体および H . インフルエンザ由来の蛋白 D から成る群から選択される請求項 2 記載の免疫原性組成物。

【請求項 4】

ワクチンが少なくとも 4 つの別の血清型由来の肺炎球菌多糖体抗原を含む請求項 1 ~ 3 いずれかに記載の免疫原性組成物。

【請求項 5】

さらにアジュバントを含む請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の免疫原性組成物。

【請求項 6】

アジュバントがアルミニウム塩を含む請求項 5 記載の免疫原性組成物。

【請求項 7】

アジュバントが T H 1 応答の優先的誘導物質である請求項 5 記載の免疫原性組成物。

【請求項 8】

アジュバントが 3 D - M P L、サポニン免疫活性化剤および免疫活性化 C p G オリゴヌクレオチドの少なくとも 1 つを含む請求項 7 記載の免疫原性組成物。

【請求項 9】

アジュバントが水中油型エマルジョン、リボソームおよびアルミニウム塩から成る群から選択される担体を含む請求項 8 記載の免疫原性組成物。

【請求項 10】

医薬として用いる請求項 1～9 のいずれかに記載の免疫原性組成物。

【請求項 11】

請求項 1～9 のいずれかに免疫原性組成物を含んで成るワクチン。

【請求項 12】

55 歳を超える患者におけるストレプトコッカス・ニューモニエ感染症の予防または改善方法であって、有効量の、ストレプトコッカス・ニューモニエ多糖体および P h t A、P h t D、P h t B、P h t E、S p s A、L y t B、L y t C、L y t A、S p 1 2 5、S p 1 0 1、S p 1 2 8、S p 1 3 0 および S p 1 3 3 から成る群から選択される少なくとも 1 つのストレプトコッカス・ニューモニエ蛋白、および任意に T H 1 誘発アジュバントを含むワクチンを投与することを特徴とする方法。

【請求項 13】

55 歳を超える患者における肺炎の予防または治療のための医薬の製造における、P h t A、P h t D、P h t B、P h t E、S p s A、L y t B、L y t C、L y t A、S p 1 2 5、S p 1 0 1、S p 1 2 8、S p 1 3 0 および S p 1 3 3 から成る群から選択されるストレプトコッカス・ニューモニエ蛋白抗原、および任意に T H 1 誘発アジュバントと組み合わせた、肺炎球菌多糖体抗原の使用。

【請求項 14】

幼児または小児の中耳炎の予防または治療のための医薬の製造における、P h t A、P h t D、P h t B、P h t E、S p s A、L y t B、L y t C、L y t A、S p 1 2 5、S p 1 0 1、S p 1 2 8、S p 1 3 0 および S p 1 3 3 から成る群から選択されるストレプトコッカス・ニューモニエ蛋白抗原、および任意に T H 1 誘発アジュバントと組み合わせた、肺炎球菌多糖体抗原の使用。

【請求項 15】

1 つまたはそれ以上の肺炎球菌多糖体抗原を選択する工程；

1 つまたはそれ以上の P h t A、P h t D、P h t B、P h t E、S p s A、L y t B、L y t C、L y t A、S p 1 2 5、S p 1 0 1、S p 1 2 8、S p 1 3 0 および S p 1 3 3 から成る群から選択される肺炎球菌蛋白抗原を選択する工程；および

上記多糖体および蛋白抗原を適当な賦形剤と混合する工程；

を含む請求項 1～10 のいずれかに記載の免疫原性組成物の製造方法。

【請求項 16】

幼児における中耳炎の予防または改善方法であって、安全かつ有効な量の、ストレプトコッカス・ニューモニエ多糖体抗原および P h t A、P h t D、P h t B、P h t E、S p s A、L y t B、L y t C、L y t A、S p 1 2 5、S p 1 0 1、S p 1 2 8、S p 1 3 0 および S p 1 3 3 から成る群から選択されるストレプトコッカス・ニューモニエ蛋白抗原と、任意に T H 1 アジュバントとを含むワクチンを幼児に投与することを特徴とする方法。